

A班



協働のまちづくりアカデミーA班
班長 菊地 幸直 さん（42）
きくち・ゆきなお◎衣川区在住の会社員。地元でまちづくりの役に就いたことをきっかけにアカデミーに応募。「もっと仲間を増やしたい。そして、子どもやお年寄り、子育て世代などが集まれる楽しいことをしたい」と思いをはせる



アカデミー受講生も地元の若者たちと熱く語り合う

ぶっちゃけ、江刺って
どうよ？雑談さみっと

どうしたら若者を巻き込ん

2年目となった本年度、受講生たちはA・B・Cの3班に分かれて、自分たちが考える地域課題の解決策を地域に出向いて探る「アクションプログラム」に取り組みました。

地域をステージにしたアクションプログラムに挑む受講生たち
自ら考え、自ら実践する中で何を発見したのか

2年目の挑戦・地域での実践

だ地域づくりができるかを考えたA班。「ざつくばらんに本音を聞きたい」という思いから、「ぶっちゃけ、江刺ってどうよ？雑談さみっと」を企画しました。

江刺区内のカフェを会場に若者で雑談しようという企画に、同区の20〜35歳15人が参加。A班のメンバーも加わり、江刺について「ぶっちゃけ」

ました。その中では「江刺は住みやすい」「年祝連や甚句まつりは大事にしたい」「週に1回でもバスの深夜運行を」「ママフェスをやってみたい」など、若者の素直な思いや意見を聞くことができました。
「若い人たちも、地元のことをきちんと見ているという印象を受けました」と語る班長の菊地幸直さんは「機会があればみんな喋ってくれる。もっとこんな場があってもいいんじゃないか——」と目を細めました。雑談さみっとを通して、若者の声を地域づくりにつなげるヒントを見つけたようです。

奥州型地域づくりの後継者育成支援を目指して
後継者育成の虎の巻

B班は、自分たちの地域の現状を振り返り、自治組織の担い手が不足していることを

B班



協働のまちづくりアカデミーB班
班長 吉田 裕悦 さん（64）
よしだ・ゆうえつ◎衣川区在住。衣川地区センター長を退任後、25年5月に「みらい工房衣川」を立ち上げ、地域福祉の人材育成を行う。アカデミーの活動を通して「まちづくりは人が全て」とあらためて実感。人材育成にいつそうの意欲を燃やす



白鳥地区住民との協働で後継者育成の必要性を再認識

地域課題に設定。担い手を育成するための「後継者育成の虎の巻」を作成することになりました。

前沢区の白鳥地区住民協議会と協働で取り組む中で「若い人が出て来ない、後継者がいない。どこも同じ悩みを抱えていると知った」と班長の吉田裕悦さんは語ります。

そこで、B班と同協議会は、地域づくりの先進地である一関市藤沢町の深萱地区を視察しました。そこでは、PTAと消防団が地区行事の主な担い手として定着。行事を行うことで自然と後継者が育つと

いう好循環が起きていました。「若者の参加を促し、さらに行事をやりやすくできるものを——」と作り上げた虎の巻。その内容は、後継者育成講座の組み立て方や講師、財源などを掲載した「育成支援プログラム」行事の実施方法などを形にして継承するための「業務引き継ぎ書」「行事手順書」の3つで構成され、今後、希望する地区振興会に配布する予定です。
「地域づくりは人づくり」。虎の巻の表紙には、B班が実践を通してあらためて実感したこの言葉が記されています。

1年目の出会いと学び

年齢や職業、地域もさまざまな29人が集い
協働のまちづくりアカデミー1期生の活動がスタート

初めての試みに多彩な
顔ぶれの市民が参加

市は、協働のまちづくりの担い手として活躍するリーダーの育成を目的として、平成25年6月に「協働のまちづくりアカデミー」を開講。27年3月までの約2年間を研修期間とし、50歳未満の市民を対象に受講生を募りました（地区振興会推薦の場合は年齢不問）。

■表1 受講生29人の構成（開講時）			
年代	人数	地区	人数
10代	1人	水沢	9人
20代	7人	江刺	8人
30代	5人	前沢	3人
40代	8人	胆沢	5人
50代	3人	衣川	4人
60代	5人		

※男性16人、女性13人、平均年齢41.7歳

地域課題を解決するための知識と技術を習得

アカデミーの講座や活動は、日中働きに出ている人でも参加できるよう、ほとんどが夜間に行われました。1年目は、講義を中心としたカリキュラムを実施（表2）。「協働とはなにか」といった基礎的な知識のほか、議論での課題解決に用いる「ワークショップ」の手法、プレゼンテーションを行うときの話し方や身振り手振りなどの技術も学びました。普段、人前に立って話をする機会が少ない受講生も多く、



初めてのプレゼンテーション講座では緊張の表情

特にも「プレゼンテーション講座はとても勉強になった」と好評。また、西和賀町での視察研修では、実際に町おこしに携わっている（株）西和賀産業公社の志村ゼネラルマネジャーから、まちづくりの手法などを直接聞くことができ、受講生たちの大きな刺激になりました。

1年目の最後には、自分たちでワークショップの手法を実践。地域課題の洗い出しを行いました。

■表2 25年度の協働のまちづくりアカデミー講座スケジュール

月日	内容	講師など
6月10日	講義 私考える協働のまちづくり協働とは何かもう一度考えよう	小沢昌記市長 岩手大学・広田純一教授
7月25日	講義 経済情勢と奥州市の行財政改革協働の必要性とまちづくり施策地域づくりとワークショップ	大内薫行財政改革室長 千葉典弘まちづくり推進課長 NPO法人イーティーシー・及川純一理事長
8月 6日	ワークショップ 地域の10年後を考えよう（早稲田大学との共同）	NPO法人イーティーシー・及川純一理事長
8月22日	講義 人をひきつけるリーダーとは	市国際交流協会・佐藤剛会長
9月12日	講義 人の心をつかむプレゼンテーション講座～わかりやすい話の組み立て方～	Coaching Office・平野順子パーソナルコーチ
9月19日	講義 人の心をつかむプレゼンテーション講座～より伝わりやすい表現力～	Coaching Office・平野順子パーソナルコーチ
10月24日	講義 コミュニティの自治・自立・経営とは	NPO研修・情報センター・世古一穂代表理事
11月10日	一般公開講座 ミュージカル「なんとかすっぺ！おらほのまち奥州」	劇団ぜんとうようくらぶ・志村尚一代表
11月28日	意見交換 アカデミーに関する意見交換	岩手大学・広田純一教授
12月19日	ワークショップ 地域課題解決のための手法（Ⅰ）	岩手大学・広田純一教授
1月22日	一般公開講座 協働のまちづくりフォーラム	深萱の昔とうふ工房・皆川洋一代表
1月25日	視察研修 地域資源をいかしたまちづくり（西和賀町）	（株）西和賀産業公社・志村尚一ゼネラルマネジャー
1月30日	ワークショップ 地域課題解決のための手法（Ⅱ）	岩手大学・広田純一教授
2月27日	ワークショップ 地域課題解決のための手法（Ⅲ）	岩手大学・広田純一教授
3月18日	ワークショップ 地域課題解決のための手法（まとめ）	岩手大学・広田純一教授

※ワークショップ…みんなで議論したり物を作ったりと、参加者全員が共通の体験をしながら、学びや問題解決を進めていく手法